

三菱電機株式会社 冷熱システム製作所 生きものリスト

調査期間・範囲について

調査期間: 2021年5月、7月、11月(植物類)
調査範囲: 冷熱システム製作所 構内
調査方法: 目視

調査リスト

■植物 1/14

No.	科名	種名	学名	重要種				外来種		
				文化財保護法	保存法	環境省RL2020	和歌山RDB2012	外来生物法	生態系被害防止外来種	和歌山県外来
1	トクサ科	スギナ	<i>Equisetum arvense</i>							
2	カニクサ科	カニクサ	<i>Lygodium japonicum</i> var. <i>japonicum</i>							
3	ヒメシダ科	ホシダ	<i>Thelypteris acuminata</i> var. <i>acuminata</i>							
4		イヌケホシダ	<i>Thelypteris dentata</i>							●
5	メシダ科	シケシダ	<i>Deparia japonica</i>							
6	オシダ科	ヤブソテツ	<i>Cyrtomium fortunei</i> var. <i>fortunei</i>							
7	ウラボシ科	ノキシノブ (広義)	<i>Lepisorus thunbergianus</i>							
8	ソテツ科	ソテツ	<i>Cycas revoluta</i>							
9	イチョウ科	イチョウ	<i>Ginkgo biloba</i>							
10	マツ科	ヒマラヤスギ	<i>Cedrus deodara</i>							
11		クロマツ	<i>Pinus thunbergii</i>							
12	マキ科	イヌマキ	<i>Podocarpus macrophyllus</i>							
13	ヒノキ科	カイヅカイブキ	<i>Juniperus chinensis</i> var. <i>chinensis</i> cv. <i>pyramidalis</i>							
14	ドクダミ科	ドクダミ	<i>Houttuynia cordata</i>							

注1) 種名及び分類は、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和3年度生物リスト 河川環境データベース」(水情報国土データ管理センター、令和3年)に準拠した。

注2) シラン、ハマオモト、カツラ、ハクチョウゲの4種は重要種選定基準に該当するが、調査範囲内の個体は植栽由来であると考えられるため、重要種としては扱わない。

【重要種の選定基準】

文化財保護法

「文化財保護法」(1950年、法律第214号)による指定種

特天：国指定特別天然記念物、国天：国指定天然記念物

種の保存法

「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992年、法律第75号)による希少野生動植物種

国際：国際希少野生動植物種、国内：国内希少野生動植物種

環境省RL2020

「環境省レッドリスト2020」(2020年、環境省)の掲載種

EX：絶滅、EW：野生絶滅、GR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群

和歌山RDB2012

「保全上重要なわかやまの自然—和歌山県レッドデータブック—【2012改訂版】」(2012年、和歌山県)の掲載種

EX：絶滅、GR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、SI：学術的重要

【外来種の選定基準】

外来生物法

「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(2004年、法律第78号)による特定外来生物

特定：特定外来生物

生態系被害防止外来種

「生態系被害防止外来種リスト(我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト)」(2015年、環境省)に掲載されている国外外来種

外緊：国外由来の緊急対策外来種、外重：国外由来の重点対策外来種、外総：国外由来の総合対策外来種、外産：国外由来の産業管理外来種

和歌山県外来

「和歌山県の外来種リスト」(2016年、和歌山県)の掲載種のうち、カテゴリー指定種

外防：防除対策外来種、外重：重点啓発外来種、外産：産業利用外来種、●：無印

カテゴリー区分「無印」とは、同リストにおいて、「その他3つのカテゴリーに該当しないもの、もしくは判定不能なもの」と定義されている種。

調査結果の確認種リストでは、便宜上、「●」のマークで示すこととした。

■植物 2/14

No.	科名	種名	学名	重要種				外来種		
				文化財保護法	保存法	環境省RL2020	和歌山RDB2012	外来生物法	生態系被害防止外来種	和歌山県外来
15	モクレン科	コブシ	<i>Magnolia kobus</i>							
16	クスノキ科	クスノキ	<i>Cinnamomum camphora</i>							
17		ヤブニッケイ	<i>Cinnamomum yabunikkei</i>							
18		シロダモ	<i>Neolitsea sericea</i> var. <i>sericea</i>							
19	ヤマノイモ科	オニドコロ	<i>Dioscorea tokoro</i>							
20	イヌサフラン科	イヌサフラン	<i>Colchicum autumnale</i>							
21	ラン科	シラン	<i>Bletilla striata</i>							
22		ネジバナ	<i>Spiranthes sinensis</i> var. <i>amoena</i>							
23	アヤメ科	ヒオウギ	<i>Iris domestica</i>							
24		ニワゼキショウ	<i>Sisyrinchium rosulatum</i>							●
25	ススキノキ科	キダチアロエ	<i>Aloe arborescens</i>							

注1) 種名及び分類は、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和3年度生物リスト 河川環境データベース」（水情報国土データ管理センター、令和3年）に準拠した。

注2) シラン、ハマオモト、カツラ、ハクチョウゲの4種は重要種選定基準に該当するが、調査範囲内の個体は植栽由来と考えられるため、重要種としては扱わない。

【重要種の選定基準】

文化財保護法

「文化財保護法」（1950年、法律第214号）による指定種
 特天：国指定特別天然記念物、国天：国指定天然記念物

種の保存法

「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（1992年、法律第75号）による希少野生動植物種
 国際：国際希少野生動植物種、国内：国内希少野生動植物種

環境省RL2020

「環境省レッドリスト2020」（2020年、環境省）の掲載種
 EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群

和歌山RDB2012

「保全上重要なわかやまの自然—和歌山県レッドデータブック【2012改訂版】」（2012年、和歌山県）の掲載種
 EX：絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、SI：学術的重要

【外来種の選定基準】

外来生物法

「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（2004年、法律第78号）による特定外来生物
 特定：特定外来生物

生態系被害防止外来種

「生態系被害防止外来種リスト（我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト）」（2015年、環境省）に掲載されている国外外来種
 外緊：国外由来の緊急対策外来種、外重：国外由来の重点対策外来種、外総：国外由来の総合対策外来種、外産：国外由来の産業管理外来種

和歌山県外来

「和歌山県の外来種リスト」（2016年、和歌山県）の掲載種のうち、カテゴリー指定種
 外防：防除対策外来種、外重：重点啓発外来種、外産：産業利用外来種、●：無印
 カテゴリー区分「無印」とは、同リストにおいて、「その他3つのカテゴリーに該当しないもの、もしくは判定不能なもの」と定義されている種。
 調査結果の確認種リストでは、便宜上、「●」のマークで示すこととした。

■植物 3/14

No.	科名	種名	学名	重要種				外来種		
				文化財保護法	保存法	環境省RL2020	和歌山RDB2012	外来生物法	生態系被害防止外来種	和歌山県外来
26	ヒガンバナ科	アガパンサス	<i>Agapanthus cvs.</i>							
27		ノビル	<i>Allium macrostemon</i>							
28		ハマオモト	<i>Crinum asiaticum var. japonicum</i>							
29		ヒガンバナ	<i>Lycoris radiata</i>							
30		スイセン	<i>Narcissus tazetta var. chinensis</i>							
31		ハタケニラ	<i>Nothoscordum gracile</i>							●
32		クサスギカズラ科	オリヅルラン	<i>Chlorophytum comosum</i>						
33	ドイツズラン		<i>Convallaria majalis var. majalis</i>							
34	ヤブラン		<i>Liriope muscari</i>							
35	ジャノヒゲ		<i>Ophiopogon japonicus</i>							
36	ナガバジャノヒゲ		<i>Ophiopogon japonicus var. umbrosus</i>							
37	ヤシ科	フェニックス	<i>Phoenix spp.</i>							
38		シュロ	<i>Trachycarpus fortunei</i>							
39		トウジュロ	<i>Trachycarpus wagnerianus</i>							
40	ツユクサ科	ツユクサ	<i>Commelina communis</i>							

注1) 種名及び分類は、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和3年度生物リスト 河川環境データベース」（水情報国土データ管理センター、令和3年）に準拠した。

注2) シラン、ハマオモト、カツラ、ハクチョウゲの4種は重要種選定基準に該当するが、調査範囲内の個体は植栽由来であると考えられるため、重要種としては扱わない。

【重要種の選定基準】

- 文化財保護法** 「文化財保護法」（1950年、法律第214号）による指定種
 特天：国指定特別天然記念物、国天：国指定天然記念物
- 種の保存法** 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（1992年、法律第75号）による希少野生動植物種
 国際：国際希少野生動植物種、国内：国内希少野生動植物種
- 環境省RL2020** 「環境省レッドリスト2020」（2020年、環境省）の掲載種
 EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- 和歌山RDB2012** 「保全上重要なわかやまの自然—和歌山県レッドデータブック—【2012改訂版】」（2012年、和歌山県）の掲載種
 EX：絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、SI：学術的重要

【外来種の選定基準】

- 外来生物法** 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（2004年、法律第78号）による特定外来生物
 特定：特定外来生物
- 生態系被害防止外来種** 「生態系被害防止外来種リスト（我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト）」（2015年、環境省）に掲載されている国外外来種
 外緊：国外由来の緊急対策外来種、外重：国外由来の重点対策外来種、外総：国外由来の総合対策外来種、外産：国外由来の産業管理外来種
- 和歌山県外来** 「和歌山県の外来種リスト」（2016年、和歌山県）の掲載種のうち、カテゴリ—指定種
 外防：防除対策外来種、外重：重点啓発外来種、外産：産業利用外来種、●：無印
 カテゴリ区分「無印」とは、同リストにおいて、「その他3つのカテゴリに該当しないもの、もしくは判定不能なもの」と定義されている種。
 調査結果の確認種リストでは、便宜上、「●」のマークで示すこととした。

■植物 4/14

No.	科名	種名	学名	重要種				外来種		
				文化財保護法	保存法	環境省RL2020	和歌山RDB2012	外来生物法	生態系被害防止外来種	和歌山県外来
41	イグサ科	クサイ	<i>Juncus tenuis</i>							
42		スズメノヤリ	<i>Luzula capitata</i>							
43	カヤツリグサ科	ヒメクグ	<i>Cyperus brevifolius</i> var. <i>leiolepis</i>							
44		クグガヤツリ	<i>Cyperus compressus</i>							
45		メリケンガヤツリ	<i>Cyperus eragrostis</i>						外重	外重
46		ハマスゲ	<i>Cyperus rotundus</i>							
47	イネ科	メリケンカルカヤ	<i>Andropogon virginicus</i>						外総	●
48		ヒメコバンソウ	<i>Briza minor</i>							●
49		イヌムギ	<i>Bromus catharticus</i>							●
50		スズメノチャヒキ	<i>Bromus japonicus</i>							
51		ギョウギシバ	<i>Cynodon dactylon</i>							
52		メヒシバ	<i>Digitaria ciliaris</i>							
53		カモジグサ	<i>Elymus tsukushiensis</i> var. <i>transiens</i>							
54		カゼクサ	<i>Eragrostis ferruginea</i>							
55		チガヤ	<i>Imperata cylindrica</i> var. <i>koenigii</i>							
56		ネズミムギ	<i>Lolium multiflorum</i>							外産

注1) 種名及び分類は、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和3年度生物リスト 河川環境データベース」（水情報国土データ管理センター、令和3年）に準拠した。

注2) シラン、ハマオモト、カツラ、ハクチョウゲの4種は重要種選定基準に該当するが、調査範囲内の個体は植栽由来であると考えられるため、重要種としては扱わない。

【重要種の選定基準】

- 文化財保護法** 「文化財保護法」（1950年、法律第214号）による指定種
 特天：国指定特別天然記念物、国天：国指定天然記念物
- 種の保存法** 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（1992年、法律第75号）による希少野生動植物種
 国際：国際希少野生動植物種、国内：国内希少野生動植物種
- 環境省RL2020** 「環境省レッドリスト2020」（2020年、環境省）の掲載種
 EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- 和歌山RDB2012** 「保全上重要なわかやまの自然—和歌山県レッドデータブック【2012改訂版】」（2012年、和歌山県）の掲載種
 EX：絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、SI：学術的重要

【外来種の選定基準】

- 外来生物法** 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（2004年、法律第78号）による特定外来生物
 特定：特定外来生物
- 生態系被害防止外来種** 「生態系被害防止外来種リスト（我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト）」（2015年、環境省）に掲載されている国外外来種
 外緊：国外由来の緊急対策外来種、外重：国外由来の重点対策外来種、外総：国外由来の総合対策外来種、外産：国外由来の産業管理外来種
- 和歌山県外来** 「和歌山県の外来種リスト」（2016年、和歌山県）の掲載種のうち、カテゴリ—指定種
 外防：防除対策外来種、外重：重点啓発外来種、外産：産業利用外来種、●：無印
 カテゴリ—区分「無印」とは、同リストにおいて、「その他3つのカテゴリ—に該当しないもの、もしくは判定不能なもの」と定義されている種。
 調査結果の確認種リストでは、便宜上、「●」のマークで示すこととした。

■植物 5/14

No.	科名	種名	学名	重要種				外来種		
				文化財保護法	保存法	環境省RL2020	和歌山RDB2012	外来生物法	生態系被害防止外来種	和歌山県外来
57	イネ科	モウソウチク	<i>Phyllostachys edulis</i>						外産	
58		ネザサ	<i>Pleioblastus argenteostriatus</i>							
59		スズメノカタビラ	<i>Poa annua</i>							
60		ヒエガエリ	<i>Polypogon fugax</i>							
61		アキノエノコログサ	<i>Setaria faberi</i>							
62		キンエノコロ	<i>Setaria pumila</i>							
63		エノコログサ	<i>Setaria viridis</i> var. <i>minor</i>							
64		ネズミノオ	<i>Sporobolus fertilis</i> var. <i>fertilis</i>							
65		ナギナタガヤ	<i>Vulpia myuros</i> var. <i>myuros</i>						外産	●
66		シバ	<i>Zoysia japonica</i>							
67	コウライシバ	<i>Zoysia pacifica</i>								
68	ケシ科	ナガミヒナゲシ	<i>Papaver dubium</i>							●
69	アケビ科	ミツバアケビ	<i>Akebia trifoliata</i> ssp. <i>trifoliata</i>							
70	ツツラフジ科	アオツツラフジ	<i>Cocculus trilobus</i>							
71	メギ科	ナンテン	<i>Nandina domestica</i>							

注1) 種名及び分類は、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和3年度生物リスト 河川環境データベース」（水情報国土データ管理センター、令和3年）に準拠した。

注2) シラン、ハマオモト、カツラ、ハクチョウゲの4種は重要種選定基準に該当するが、調査範囲内の個体は植栽由来であると考えられるため、重要種としては扱わない。

【重要種の選定基準】

- 文化財保護法** 「文化財保護法」（1950年、法律第214号）による指定種
特天：国指定特別天然記念物、国天：国指定天然記念物
- 種の保存法** 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（1992年、法律第75号）による希少野生動植物種
国際：国際希少野生動植物種、国内：国内希少野生動植物種
- 環境省RL2020** 「環境省レッドリスト2020」（2020年、環境省）の掲載種
EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- 和歌山RDB2012** 「保全上重要なわかやまの自然—和歌山県レッドデータブック—【2012改訂版】」（2012年、和歌山県）の掲載種
EX：絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、SI：学術的重要

【外来種の選定基準】

- 外来生物法** 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（2004年、法律第78号）による特定外来生物
特定：特定外来生物
- 生態系被害防止外来種** 「生態系被害防止外来種リスト（我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト）」（2015年、環境省）に掲載されている国外外来種
外緊：国外由来の緊急対策外来種、外重：国外由来の重点対策外来種、外総：国外由来の総合対策外来種、外産：国外由来の産業管理外来種
- 和歌山県外来** 「和歌山県の外来種リスト」（2016年、和歌山県）の掲載種のうち、カテゴリ—指定種
外防：防除対策外来種、外重：重点啓発外来種、外産：産業利用外来種、●：無印
カテゴリ区分「無印」とは、同リストにおいて、「その他3つのカテゴリに該当しないもの、もしくは判定不能なもの」と定義されている種。
調査結果の確認種リストでは、便宜上、「●」のマークで示すこととした。

■植物 6/14

No.	科名	種名	学名	重要種				外来種			
				文化財保護法	保存法	環境省RL2020	和歌山RDB2012	外来生物法	生態系被害防止外来種	和歌山県外来	
72	キンボウゲ科	セイヨウオダマキ	<i>Aquilegia vulgaris</i>								
73		ヒメウス	<i>Semiaquilegia adoxoides</i>								
74	ツゲ科	ボックスウッド	<i>Buxus sempervirens</i>								
75	カツラ科	カツラ	<i>Cercidiphyllum japonicum</i>								
76	ベンケイソウ科	フチベニベンケイ	<i>Crassula portulacea</i>								
77		コモチマンネングサ	<i>Sedum bulbiferum</i>								
78		メキシコマンネングサ	<i>Sedum mexicanum</i>								
79	ブドウ科	ノブドウ	<i>Ampelopsis glandulosa</i> var. <i>heterophylla</i>								
80		ヤブカラシ	<i>Cayratia japonica</i>								
81		ツタ	<i>Parthenocissus tricuspidata</i>								
82	マメ科	ツルマメ	<i>Glycine max</i> ssp. <i>soja</i>								
83		クスダマツメクサ	<i>Trifolium campestre</i>							●	
84		コメツブツメクサ	<i>Trifolium dubium</i>							●	
85		シロツメクサ	<i>Trifolium repens</i>							●	
86		ヤハズエンドウ	<i>Vicia sativa</i> ssp. <i>nigra</i>								
87		ツルアズキ	<i>Vigna umbellata</i>								

注1) 種名及び分類は、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和3年度生物リスト 河川環境データベース」（水情報国土データ管理センター、令和3年）に準拠した。

注2) シラン、ハマオモト、カツラ、ハクチョウゲの4種は重要種選定基準に該当するが、調査範囲内の個体は植栽由来であると考えられるため、重要種としては扱わない。

【重要種の選定基準】

- 文化財保護法** 「文化財保護法」（1950年、法律第214号）による指定種
 特天：国指定特別天然記念物、国天：国指定天然記念物
- 種の保存法** 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（1992年、法律第75号）による希少野生動植物種
 国際：国際希少野生動植物種、国内：国内希少野生動植物種
- 環境省RL2020** 「環境省レッドリスト2020」（2020年、環境省）の掲載種
 EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- 和歌山RDB2012** 「保全上重要なわかやまの自然—和歌山県レッドデータブック【2012改訂版】」（2012年、和歌山県）の掲載種
 EX：絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、SI：学術的重要

【外来種の選定基準】

- 外来生物法** 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（2004年、法律第78号）による特定外来生物
 特定：特定外来生物
- 生態系被害防止外来種** 「生態系被害防止外来種リスト（我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト）」（2015年、環境省）に掲載されている国外外来種
 外緊：国外由来の緊急対策外来種、外重：国外由来の重点対策外来種、外総：国外由来の総合対策外来種、外産：国外由来の産業管理外来種
- 和歌山県外来** 「和歌山県の外来種リスト」（2016年、和歌山県）の掲載種のうち、カテゴリ—指定種
 外防：防除対策外来種、外重：重点啓発外来種、外産：産業利用外来種、●：無印
 カテゴリ区分「無印」とは、同リストにおいて、「その他3つのカテゴリに該当しないもの、もしくは判定不能なもの」と定義されている種。
 調査結果の確認種リストでは、便宜上、「●」のマークで示すこととした。

■植物 7/14

No.	科名	種名	学名	重要種				外来種		
				文化財保護法	保存法	環境省RL2020	和歌山RDB2012	外来生物法	生態系被害防止外来種	和歌山県外来
88	ニレ科	アキニレ	<i>Ulmus parvifolia</i>							
89		ケヤキ	<i>Zelkova serrata</i>							
90	アサ科	ムクノキ	<i>Aphananthe aspera</i>							
91		エノキ	<i>Celtis sinensis</i>							
92	クワ科	クワクサ	<i>Fatoua villosa</i>							
93		イヌビワ	<i>Ficus erecta var. erecta</i>							
94		ヒメイタビ	<i>Ficus thunbergii</i>							
95	バラ科	ヤマザクラ	<i>Cerasus jamasakura var. jamasakura</i>							
96		ソメイヨシノ	<i>Cerasus x yedoensis</i>							
97		カナメモチ	<i>Photinia glabra</i>							
98		ヘビイチゴ	<i>Potentilla hebiichigo</i>							
99		ヤブヘビイチゴ	<i>Potentilla indica</i>							
100		ウメ	<i>Prunus mume</i>							
101		ユスラウメ	<i>Prunus tomentosa</i>							
102		タチバナモドキ	<i>Pyracantha angustifolia</i>							外総

注1) 種名及び分類は、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和3年度生物リスト 河川環境データベース」（水情報国土データ管理センター、令和3年）に準拠した。

注2) シラン、ハマオモト、カツラ、ハクチョウゲの4種は重要種選定基準に該当するが、調査範囲内の個体は植栽由来であると考えられるため、重要種としては扱わない。

【重要種の選定基準】

- 文化財保護法** 「文化財保護法」（1950年、法律第214号）による指定種
特天：国指定特別天然記念物、国天：国指定天然記念物
- 種の保存法** 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（1992年、法律第75号）による希少野生動植物種
国際：国際希少野生動植物種、国内：国内希少野生動植物種
- 環境省RL2020** 「環境省レッドリスト2020」（2020年、環境省）の掲載種
EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- 和歌山RDB2012** 「保全上重要なわかやまの自然—和歌山県レッドデータブック—【2012改訂版】」（2012年、和歌山県）の掲載種
EX：絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、SI：学術的重要

【外来種の選定基準】

- 外来生物法** 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（2004年、法律第78号）による特定外来生物
特定：特定外来生物
- 生態系被害防止外来種** 「生態系被害防止外来種リスト（我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト）」（2015年、環境省）に掲載されている国外外来種
外緊：国外由来の緊急対策外来種、外重：国外由来の重点対策外来種、外総：国外由来の総合対策外来種、外産：国外由来の産業管理外来種
- 和歌山県外来** 「和歌山県の外来種リスト」（2016年、和歌山県）の掲載種のうち、カテゴリ—指定種
外防：防除対策外来種、外重：重点啓発外来種、外産：産業利用外来種、●：無印
カテゴリ区分「無印」とは、同リストにおいて、「その他3つのカテゴリに該当しないもの、もしくは判定不能なもの」と定義されている種。
調査結果の確認種リストでは、便宜上、「●」のマークで示すこととした。

■植物 8/14

No.	科名	種名	学名	重要種				外来種		
				文化財保護法	保存法	環境省RL2020	和歌山RDB2012	外来生物法	生態系被害防止外来種	和歌山県外来
103	ブナ科	マテバシイ	<i>Lithocarpus edulis</i>							
104		アラカシ	<i>Quercus glauca</i>							
105		シラカシ	<i>Quercus myrsinifolia</i>							
106		ウバメガシ	<i>Quercus phillyreoides</i>							
107	ヤマモモ科	ヤマモモ	<i>Morella rubra</i>							
108	カタバミ科	イモカタバミ	<i>Oxalis articulata</i>							●
109		カタバミ	<i>Oxalis corniculata</i>							
110		ムラサキカタバミ	<i>Oxalis corymbosa</i>							●
111		オッタチカタバミ	<i>Oxalis dillenii</i>							●
112	トウダイグサ科	エノキグサ	<i>Acalypha australis</i>							
113		コニシキソウ	<i>Euphorbia maculata</i>							●
114		オオニシキソウ	<i>Euphorbia nutans</i>							●
115		アカメガシワ	<i>Mallotus japonicus</i>							
116	スミレ科	タチツボスミレ	<i>Viola grypoceras</i> var. <i>grypoceras</i>							
117		スミレ	<i>Viola mandshurica</i> var. <i>mandshurica</i>							

注1) 種名及び分類は、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和3年度生物リスト 河川環境データベース」（水情報国土データ管理センター、令和3年）に準拠した。

注2) シラン、ハマオモト、カツラ、ハクチョウゲの4種は重要種選定基準に該当するが、調査範囲内の個体は植栽由来であると考えられるため、重要種としては扱わない。

【重要種の選定基準】

- 文化財保護法** 「文化財保護法」（1950年、法律第214号）による指定種
 特天：国指定特別天然記念物、国天：国指定天然記念物
- 種の保存法** 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（1992年、法律第75号）による希少野生動植物種
 国際：国際希少野生動植物種、国内：国内希少野生動植物種
- 環境省RL2020** 「環境省レッドリスト2020」（2020年、環境省）の掲載種
 EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- 和歌山RDB2012** 「保全上重要なわかやまの自然—和歌山県レッドデータブック—【2012改訂版】」（2012年、和歌山県）の掲載種
 EX：絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、SI：学術的重要

【外来種の選定基準】

- 外来生物法** 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（2004年、法律第78号）による特定外来生物
 特定：特定外来生物
- 生態系被害防止外来種** 「生態系被害防止外来種リスト（我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト）」（2015年、環境省）に掲載されている国外外来種
 外緊：国外由来の緊急対策外来種、外重：国外由来の重点対策外来種、外総：国外由来の総合対策外来種、外産：国外由来の産業管理外来種
- 和歌山県外来** 「和歌山県の外来種リスト」（2016年、和歌山県）の掲載種のうち、カテゴリ—指定種
 外防：防除対策外来種、外重：重点啓発外来種、外産：産業利用外来種、●：無印
 カテゴリ区分「無印」とは、同リストにおいて、「その他3つのカテゴリに該当しないもの、もしくは判定不能なもの」と定義されている種。
 調査結果の確認種リストでは、便宜上、「●」のマークで示すこととした。

■植物 9/14

No.	科名	種名	学名	重要種				外来種		
				文化財保護法	保存法	環境省RL2020	和歌山RDB2012	外来生物法	生態系被害防止外来種	和歌山県外来
118	フウロソウ科	アメリカフウロ	<i>Geranium carolinianum</i>							●
119		ゼラニウム	<i>Geranium cinereum</i>							
120	アカバナ科	アカバナ	<i>Epilobium pyrricholophum</i>							
121	アカバナ科	メマツヨイグサ	<i>Oenothera biennis</i>							●
122		コマツヨイグサ	<i>Oenothera laciniata</i>						外重	外重
123		ユウゲシヨウ	<i>Oenothera rosea</i>							●
124	ムクロジ科	トウカエデ	<i>Acer buergerianum</i>							
125	ミカン科	ナツミカン	<i>Citrus natsudaidai</i>							
126	タデ科	ヒメツルソバ	<i>Persicaria capitata</i>						外総	●
127		イヌタデ	<i>Persicaria longiseta</i>							
128	ナデシコ科	オランダミミナグサ	<i>Cerastium glomeratum</i>							●
129		ツメクサ	<i>Sagina japonica</i>							
130		コハコベ	<i>Stellaria media</i>							
131		ミドリハコベ	<i>Stellaria neglecta</i>							
132	ミズキ科	ハナミズキ	<i>Cornus florida</i>							
133		ヤマボウシ	<i>Cornus kousa</i> ssp. <i>kousa</i>							

注1) 種名及び分類は、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和3年度生物リスト 河川環境データベース」（水情報国土データ管理センター、令和3年）に準拠した。

注2) シラン、ハマオモト、カツラ、ハクチョウゲの4種は重要種選定基準に該当するが、調査範囲内の個体は植栽由来であると考えられるため、重要種としては扱わない。

【重要種の選定基準】

文化財保護法

「文化財保護法」（1950年、法律第214号）による指定種
特天：国指定特別天然記念物、国天：国指定天然記念物

種の保存法

「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（1992年、法律第75号）による希少野生動植物種
国際：国際希少野生動植物種、国内：国内希少野生動植物種

環境省RL2020

「環境省レッドリスト2020」（2020年、環境省）の掲載種
EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群

和歌山RDB2012

「保全上重要なわかやまの自然—和歌山県レッドデータブック【2012改訂版】」（2012年、和歌山県）の掲載種
EX：絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、SI：学術的重要

【外来種の選定基準】

外来生物法

「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（2004年、法律第78号）による特定外来生物
特定：特定外来生物

生態系被害防止外来種

「生態系被害防止外来種リスト（我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト）」（2015年、環境省）に掲載されている国外外来種
外緊：国外由来の緊急対策外来種、外重：国外由来の重点対策外来種、外総：国外由来の総合対策外来種、外産：国外由来の産業管理外来種

和歌山県外来

「和歌山県の外来種リスト」（2016年、和歌山県）の掲載種のうち、カテゴリ—指定種
外防：防除対策外来種、外重：重点啓発外来種、外産：産業利用外来種、●：無印
カテゴリ区分「無印」とは、同リストにおいて、「その他3つのカテゴリに該当しないもの、もしくは判定不能なもの」と定義されている種。
調査結果の確認種リストでは、便宜上、「●」のマークで示すこととした。

■植物 10/14

No.	科名	種名	学名	重要種				外来種		
				文化財保護法	保存法	環境省RL2020	和歌山RDB2012	外来生物法	生態系被害防止外来種	和歌山県外来
134	アジサイ科	アジサイ	<i>Hortensia macrophylla</i> f. <i>macrophylla</i>							
135	ハナシノブ科	シバザクラ	<i>Phlox subulata</i>							
136	サカキ科	ヒサカキ	<i>Eurya japonica</i>							
137	カキノキ科	カキノキ	<i>Diospyros kaki</i> var. <i>kaki</i>							
138	ツバキ科	サザンカ	<i>Camellia sasanqua</i>							
139		ツバキ (園芸品種)	<i>Camellia</i> cvs.							
140	エゴノキ科	エゴノキ	<i>Styrax japonicus</i>							
141	ツツジ科	サツキ	<i>Rhododendron indicum</i>							
142		ツツジ (園芸品種)	<i>Rhododendron</i> cvs.							
143	アカネ科	ヤエムグラ	<i>Galium spurium</i> var. <i>echinospermon</i>							
144		ヘクソカズラ	<i>Paederia foetida</i>							
145		ハクチョウゲ	<i>Serissa japonica</i>							
146	キョウチクトウ科	ガガイモ	<i>Metaplexis japonica</i>							
147	ヒルガオ科	ヒルガオ	<i>Calystegia pubescens</i>							
148		アオイゴケ	<i>Dichondra micrantha</i>							
149		アサガオ	<i>Ipomoea nil</i>							

注1) 種名及び分類は、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和3年度生物リスト 河川環境データベース」(水情報国土データ管理センター、令和3年)に準拠した。

注2) シラン、ハマオモト、カツラ、ハクチョウゲの4種は重要種選定基準に該当するが、調査範囲内の個体は植栽由来であると考えられるため、重要種としては扱わない。

【重要種の選定基準】

文化財保護法

「文化財保護法」(1950年、法律第214号)による指定種
 特天：国指定特別天然記念物、国天：国指定天然記念物

種の保存法

「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992年、法律第75号)による希少野生動植物種
 国際：国際希少野生動植物種、国内：国内希少野生動植物種

環境省RL2020

「環境省レッドリスト2020」(2020年、環境省)の掲載種
 EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群

和歌山RDB2012

「保全上重要なわかやまの自然—和歌山県レッドデータブック【2012改訂版】」(2012年、和歌山県)の掲載種
 EX：絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、SI：学術的重要

【外来種の選定基準】

外来生物法

「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(2004年、法律第78号)による特定外来生物
 特定：特定外来生物

生態系被害防止外来種

「生態系被害防止外来種リスト(我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト)」(2015年、環境省)に掲載されている国外外来種
 外緊：国外由来の緊急対策外来種、外重：国外由来の重点対策外来種、外総：国外由来の総合対策外来種、外産：国外由来の産業管理外来種

和歌山県外来

「和歌山県の外来種リスト」(2016年、和歌山県)の掲載種のうち、カテゴリ—指定種
 外防：防除対策外来種、外重：重点啓発外来種、外産：産業利用外来種、●：無印
 カテゴリ—区分「無印」とは、同リストにおいて、「その他3つのカテゴリ—に該当しないもの、もしくは判定不能なもの」と定義されている種。
 調査結果の確認種リストでは、便宜上、「●」のマークで示すこととした。

■植物 11/14

No.	科名	種名	学名	重要種				外来種		
				文化財保護法	保存法	環境省RL2020	和歌山RDB2012	外来生物法	生態系被害防止外来種	和歌山県外来
150	ナス科	イヌホオズキ	<i>Solanum nigrum</i>							
151	ムラサキ科	キュウリグサ	<i>Trigonotis peduncularis</i>							
152	モクセイ科	レンギョウ	<i>Forsythia suspensa</i>							
153		シマトネリコ	<i>Fraxinus griffithii</i>							
154		トウネズミモチ	<i>Ligustrum lucidum</i>						外重	外重
155		キンモクセイ	<i>Osmanthus fragrans var. aurantiacus</i>							
156	オオバコ科	マツバウンラン	<i>Mutallanthus canadensis</i>							●
157		ヘラオオバコ	<i>Plantago lanceolata</i>							●
158		タチイヌノフグリ	<i>Veronica arvensis</i>							●
159	シソ科	クサギ	<i>Clerodendrum trichotomum</i>							
160		トウバナ	<i>Clinopodium gracile</i>							
161		ホトケノザ	<i>Lamium amplexicaule</i>							
162	キツネノマゴ科	ヤナギバルイラソウ	<i>Ruellia simplex</i>						外総	●

注1) 種名及び分類は、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和3年度生物リスト 河川環境データベース」（水情報国土データ管理センター、令和3年）に準拠した。

注2) シラン、ハマオモト、カツラ、ハクチョウゲの4種は重要種選定基準に該当するが、調査範囲内の個体は植栽由来であると考えられるため、重要種としては扱わない。

【重要種の選定基準】

文化財保護法 「文化財保護法」（1950年、法律第214号）による指定種
 特天：国指定特別天然記念物、国天：国指定天然記念物

種の保存法 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（1992年、法律第75号）による希少野生動植物種
 国際：国際希少野生動植物種、国内：国内希少野生動植物種

環境省RL2020 「環境省レッドリスト2020」（2020年、環境省）の掲載種
 EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群

和歌山RDB2012 「保全上重要なわかやまの自然—和歌山県レッドデータブック—【2012改訂版】」（2012年、和歌山県）の掲載種
 EX：絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、SI：学術的重要

【外来種の選定基準】

外来生物法 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（2004年、法律第78号）による特定外来生物
 特定：特定外来生物

生態系被害防止外来種 「生態系被害防止外来種リスト（我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト）」（2015年、環境省）に掲載されている国外外来種
 外緊：国外由来の緊急対策外来種、外重：国外由来の重点対策外来種、外総：国外由来の総合対策外来種、外産：国外由来の産業管理外来種

和歌山県外来 「和歌山県の外来種リスト」（2016年、和歌山県）の掲載種のうち、カテゴリ指定種
 外防：防除対策外来種、外重：重点啓発外来種、外産：産業利用外来種、●：無印
 カテゴリ区分「無印」とは、同リストにおいて、「その他3つのカテゴリに該当しないもの、もしくは判定不能なもの」と定義されている種。
 調査結果の確認種リストでは、便宜上、「●」のマークで示すこととした。

■植物 12/14

No.	科名	種名	学名	重要種				外来種		
				文化財保護法	保存法	環境省RL2020	和歌山RDB2012	外来生物法	生態系被害防止外来種	和歌山県外来
163	モチノキ科	ナナミノキ	<i>Ilex chinensis</i>							
164		イヌツゲ	<i>Ilex crenata</i> var. <i>crenata</i>							
165		ソヨゴ	<i>Ilex pedunculosa</i>							
166		クロガネモチ	<i>Ilex rotunda</i>							
167	キキョウ科	ヒナキキョウソウ	<i>Triodanis biflora</i>							●
168		キキョウソウ	<i>Triodanis perfoliata</i>							●
169		ヒナギキョウ	<i>Wahlenbergia marginata</i>							
170	キク科	ノコギリソウ	<i>Achillea alpina</i> ssp. <i>alpina</i> var. <i>longiligulata</i>							
171		ヨモギ	<i>Artemisia indica</i> var. <i>maximowiczii</i>							
172		アメリカセンダングサ	<i>Bidens frondosa</i>						外総	●
173		オオキンケイギク	<i>Coreopsis lanceolata</i>					特定	外緊	外重
174		マメカミツレ	<i>Cotula australis</i>							●
175		ベニバナボロギク	<i>Grassocephalum crepidioides</i>							●
176		ヒメジョオン	<i>Erigeron annuus</i>						外総	●
177		ヒメムカシヨモギ	<i>Erigeron canadensis</i>							●
178		ペラペラヨメナ	<i>Erigeron karvinskianus</i>						外総	●

注1) 種名及び分類は、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和3年度生物リスト 河川環境データベース」（水情報国土データ管理センター、令和3年）に準拠した。

注2) シラン、ハマオモト、カツラ、ハクチョウゲの4種は重要種選定基準に該当するが、調査範囲内の個体は植栽由来であると考えられるため、重要種としては扱わない。

【重要種の選定基準】

- 文化財保護法** 「文化財保護法」（1950年、法律第214号）による指定種
 特天：国指定特別天然記念物、国天：国指定天然記念物
- 種の保存法** 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（1992年、法律第75号）による希少野生動植物種
 国際：国際希少野生動植物種、国内：国内希少野生動植物種
- 環境省RL2020** 「環境省レッドリスト2020」（2020年、環境省）の掲載種
 EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- 和歌山RDB2012** 「保全上重要なわかやまの自然—和歌山県レッドデータブック【2012改訂版】」（2012年、和歌山県）の掲載種
 EX：絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、SI：学術的重要

【外来種の選定基準】

- 外来生物法** 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（2004年、法律第78号）による特定外来生物
 特定：特定外来生物
- 生態系被害防止外来種** 「生態系被害防止外来種リスト（我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト）」（2015年、環境省）に掲載されている国外外来種
 外緊：国外由来の緊急対策外来種、外重：国外由来の重点対策外来種、外総：国外由来の総合対策外来種、外産：国外由来の産業管理外来種
- 和歌山県外来** 「和歌山県の外来種リスト」（2016年、和歌山県）の掲載種のうち、カテゴリ—指定種
 外防：防除対策外来種、外重：重点啓発外来種、外産：産業利用外来種、●：無印
 カテゴリ—区分「無印」とは、同リストにおいて、「その他3つのカテゴリ—に該当しないもの、もしくは判定不能なもの」と定義されている種。
 調査結果の確認種リストでは、便宜上、「●」のマークで示すこととした。

■植物 13/14

No.	科名	種名	学名	重要種				外来種			
				文化財保護法	保存法	環境省RL2020	和歌山RDB2012	外来生物法	生態系被害防止外来種	和歌山県外来	
179	キク科	オオアレチノギク	<i>Erigeron sumatrensis</i>							●	
180		キヌゲチチヨグサ	<i>Facelis retusa</i>								
181		ハキダメギク	<i>Galinsoga quadriradiata</i>							●	
182		ウラジロチチヨグサ	<i>Gamochaeta coarctata</i>							●	
183		チチヨグサモドキ	<i>Gamochaeta pennsylvanica</i>							●	
184		ウスベニチチヨグサ	<i>Gamochaeta purpurea</i>							●	
185		チチヨグサ	<i>Gnaphalium japonicum</i>								
186		ブタナ	<i>Hypochaeris radicata</i>							●	
187		ニガナ	<i>Ixeridium dentatum</i> ssp. <i>dentatum</i>								
188		オオジシバリ	<i>Ixeris japonica</i>								
189		アキノノゲシ	<i>Lactuca indica</i> var. <i>indica</i>								
190		ハハコグサ	<i>Pseudognaphalium affine</i>								
191		ナルトサワギク	<i>Senecio madagascariensis</i>						特定	外緊	外重
192		ノボロギク	<i>Senecio vulgaris</i>								●
193		セイタカアワダチソウ	<i>Solidago altissima</i>							外重	外重
194		メリケントキンソウ	<i>Soliva sessilis</i>								●

注1) 種名及び分類は、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和3年度生物リスト 河川環境データベース」（水情報国土データ管理センター、令和3年）に準拠した。

注2) シラン、ハマオモト、カツラ、ハクチョウゲの4種は重要種選定基準に該当するが、調査範囲内の個体は植栽由来であると考えられるため、重要種としては扱わない。

【重要種の選定基準】

- 文化財保護法** 「文化財保護法」（1950年、法律第214号）による指定種
 特天：国指定特別天然記念物、国天：国指定天然記念物
- 種の保存法** 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（1992年、法律第75号）による希少野生動植物種
 国際：国際希少野生動植物種、国内：国内希少野生動植物種
- 環境省RL2020** 「環境省レッドリスト2020」（2020年、環境省）の掲載種
 EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- 和歌山RDB2012** 「保全上重要なわかやまの自然—和歌山県レッドデータブック【2012改訂版】」（2012年、和歌山県）の掲載種
 EX：絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、SI：学術的重要

【外来種の選定基準】

- 外来生物法** 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（2004年、法律第78号）による特定外来生物
 特定：特定外来生物
- 生態系被害防止外来種** 「生態系被害防止外来種リスト（我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト）」（2015年、環境省）に掲載されている国外外来種
 外緊：国外由来の緊急対策外来種、外重：国外由来の重点対策外来種、外総：国外由来の総合対策外来種、外産：国外由来の産業管理外来種
- 和歌山県外来** 「和歌山県の外来種リスト」（2016年、和歌山県）の掲載種のうち、カテゴリ—指定種
 外防：防除対策外来種、外重：重点啓発外来種、外産：産業利用外来種、●：無印
 カテゴリ区分「無印」とは、同リストにおいて、「その他3つのカテゴリに該当しないもの、もしくは判定不能なもの」と定義されている種。
 調査結果の確認種リストでは、便宜上、「●」のマークで示すこととした。

■植物 14/14

No.	科名	種名	学名	重要種				外来種		
				文化財保護法	保存法	環境省RL2020	和歌山RDB2012	外来生物法	生態系被害防止外来種	和歌山県外来
195	キク科	ノゲシ	<i>Sonchus oleraceus</i>							
196		セイヨウタンポポ	<i>Taraxacum officinale</i>						外重	外重
197		アオオニタビラコ	<i>Youngia japonica ssp. japonica</i>							
198	ウコギ科	ノチドメ	<i>Hydrocotyle maritima</i>							
199		チドメグサ	<i>Hydrocotyle sibthorpioides</i>							
200	セリ科	ツボクサ	<i>Centella asiatica</i>							
201	ガマズミ科	サンゴジュ	<i>Viburnum odoratissimum var. awabuki</i>							
202	スイカズラ科	ハナゾノツクパネウツギ	<i>Abelia x grandiflora</i>							
206科423種				26種	13種	13種	13種	28種	30種	62種

注1) 種名及び分類は、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和3年度生物リスト 河川環境データベース」(水情報国土データ管理センター、令和3年)に準拠した。

注2) シラン、ハマオモト、カツラ、ハクチョウゲの4種は重要種選定基準に該当するが、調査範囲内の個体は植栽由来であると考えられるため、重要種としては扱わない。

【重要種の選定基準】

文化財保護法 「文化財保護法」(1950年、法律第214号)による指定種
特天：国指定特別天然記念物、国天：国指定天然記念物

種の保存法 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992年、法律第75号)による希少野生動植物種
国際：国際希少野生動植物種、国内：国内希少野生動植物種

環境省RL2020 「環境省レッドリスト2020」(2020年、環境省)の掲載種
EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群

和歌山RDB2012 「保全上重要なわかやまの自然—和歌山県レッドデータブック—【2012改訂版】」(2012年、和歌山県)の掲載種
EX：絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、SI：学術的重要

【外来種の選定基準】

外来生物法 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(2004年、法律第78号)による特定外来生物
特定：特定外来生物

生態系被害防止外来種 「生態系被害防止外来種リスト(我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト)」(2015年、環境省)に掲載されている国外外来種
外緊：国外由来の緊急対策外来種、外重：国外由来の重点対策外来種、外総：国外由来の総合対策外来種、外産：国外由来の産業管理外来種

和歌山県外来 「和歌山県の外来種リスト」(2016年、和歌山県)の掲載種のうち、カテゴリ—指定種
外防：防除対策外来種、外重：重点啓発外来種、外産：産業利用外来種、●：無印
カテゴリ区分「無印」とは、同リストにおいて、「その他3つのカテゴリに該当しないもの、もしくは判定不能なもの」と定義されている種。
調査結果の確認種リストでは、便宜上、「●」のマークで示すこととした。